



3〜4年前、一気に広まった山ガールの流行以来、大雪山を訪れる女性の数はずいぶん増えました。今はその流れが落ち着き、「今年はその流れる山登り志向、ファッション系、トレッキング系に枝分かれしてきた」といいます。冬はスノーボード、夏は大雪山の魅力を伝えるために旭岳を中心として山のガイドをしています。



「キトウシガイドウォーク&山ご飯」講座でロープワークの講習(9月29日、キトウシ森林公園)

60代の表年世代の登山が今後さらに増える予感も。「町の人はあまり旭岳や大雪山の自然に触れたい感じではない」と感じています。「山の魅力をもっと知ってほしい。友人や知人を連れて山に

冬山のバックカントリースノーボードはさすがに男性グループの案内8割ながら、スノーシュー体験では女性8割、夏山は女性7割なのだそう。まさに山ガールがすっかり定着したよう。「最近では夫婦で山登りするプライベートガイドが多い。旅行会社の企画でも夫婦で参加する方を十数組ガイドしました」と、50代、

登ってもらいたい。そのためにもっとロープワークを利用しやすい仕組みがあれば...」。

バックカントリーの醍醐味を求め、ニューヨーク・ランド、オーストラリア、アメリカ・アラスカの山岳氷河などを巡っています。プロボイダーとして1シーズンに1本のペースで専門誌用の写真撮影、プロモーションDVD制作の撮影活動をしてきました。「スノーボード第2世代から第3世代にかけての年代」というキャリアは、13歳の中学1年生の時が始まり。スノーボードをうまくするためにひたすらスキー場通いをし、21歳でプロ活動を始めるや、すぐに使用ボード、ウェア、ブーツにスポン

中川伸也さん/東町2 ☎090-1528-1037
HPはwww.outdoorlife-natures.com

札幌市出身、34歳。北海学園大学卒業。21歳でJ SBAプロ(日本スノーボード協会、ハーフパイプ=その後抹消)。3年間のスノーボード競技活動後、バックカントリー専門のボーダー活動に専念。ワールド・エキストリームスノーボード・チャンピオンシップ「King of the hill 2011(キング・オブ・ザ・ヒル)」大会に唯一の日本人選手として出場し8位入賞(昨年4月、アメリカ・アラスカ州パルデスで開催)。最近のスノーボードDVD映像作品は、アメリカ・アラスカ州ヘインズの山岳氷河(標高約1,500m地帯)で1週間のキャンプ、ロケーションを行って制作した「icon 7」(表フィルム制作、今年11月発売)、北海道を舞台に6作目の作品「車団地Car Danchi6 D.I.Y」のシリーズ(one films制作、同9月発売)出演など多数。北海道アウトドアガイド(夏山、冬山、自然ガイド資格)、日本山岳ガイド協会登山ガイド(ステージII)。

近5、6年は、カナダ、アラスカ国境の山岳氷河地帯でバックカントリースノーボードのDVD作品撮影をするのが恒例スケジュール。



標高約1500m付近のアラスカ・ターンアゲイン山岳氷河地帯で1週間の写真撮影ロケ(2010年4月5日)

サー企業がつくほど一気に頭角を表しました。その後メーカーの製品テストやテクニクを競う競技活動から、バックカントリーボーダーとしての活動に。最新の活動に。最



今、生き生きと | プロスノーボーダー、登山ガイド、アウトドアガイド 中川 伸也 (なかがわ しんや) さん



スノーボードが第2の恋人。山の魅力に取りつかれ、本格シーズンを迎えるこれからこそが待望の季節。踏み荒らされていない真っ白な山肌に1本のトレースを刻むため、ひたすらラッセルし、荒天を押しして何時間も急斜面を登り、バージンスノーの急斜面を求めて世界各地の名もなき峰々を旅します。「さあ、今日はどんなふう滑ろうか」。峰を見上げ、静寂の中で山と語り合う一瞬こそが至福の生きがい。